

平成25年度決算

お知らせコーナー

市では、皆さんが納めた税金をはじめ、国・県の補助金や借入金などを基に行政運営を行っています。平成25年度に市がこれだけの費用をどのように使ったかを、市の決算としてお知らせします。

一般会計の決算

平成25年度の一般会計決算は、歳入（収入）が18億8,285万5,800円（市の貯金である財政調整基金の取り崩し5億3,422万円を含む）、歳出（支出）が17億8,812万2,000円です。

市税については、人口が増加したことなどの影響により、平成24年度に比べ1億4,812万円（1.7割）増加しました。

歳入（総務費が減少）

（ごみの処理や印西斎場・印西霊園などを運営する「印西地区環境整備事業組合」が借入金を前倒しして返済したことに伴い、組合に対し負担金を支払ったことなどにより、平成24年度に比べ衛生費が3億9,559万円（19.9割）増加しましたが、平成24年度に実施した基金の統廃合により新設された公共施設整備保全基金への積み立て10億6,622万円が終了したこと、総務費が8億2,900万円（22.7割）減少しました。

差引きは9億3,946万円の黒字でしたが、この中には国の補正予算による事業採択などの理由により、平成25年度で完了しなかったため、平成26年度に繰り越して引き続き実施する事業などに使う財源4,651万円が含まれています。

また、国の補正予算による事業採択などの理由で平成25年度に完了しなかった事業（白井第一小学校校舎大規模改修事業などに掛かる8億7,987万円は、平成26年度に繰り越して実施します。

※表中の数値は万円未満単位を四捨五入しているため、合計と内訳、差引きが一致しないところがあります。

平成25年度は、平成24年度で実施した、市の貯金である基金の統廃合が終了し、廃止した基金から、いったん歳入として一般会計に繰り入れた10億6,622万円が減少したため、歳入全体では6億5,389万円（3.4割）減少しました。

健全化判断比率・資金不足比率の状況

財政の早期健全化の必要性を判断するための「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成25年度決算によ

市の財産

平成25年度末で市が保有する土地や建物などの財産は、右表のとおりです（一般会計以外の財産を含みます）。

土地	963,437平方メートル
建物	148,672平方メートル
有価証券	2,576万円
出資による権利	4億1,117万1千円
自動車	54台
土地	42,912平方メートル
現金	39億5,303万2千円
債権	12万円

財政課財政班 内線3331・2

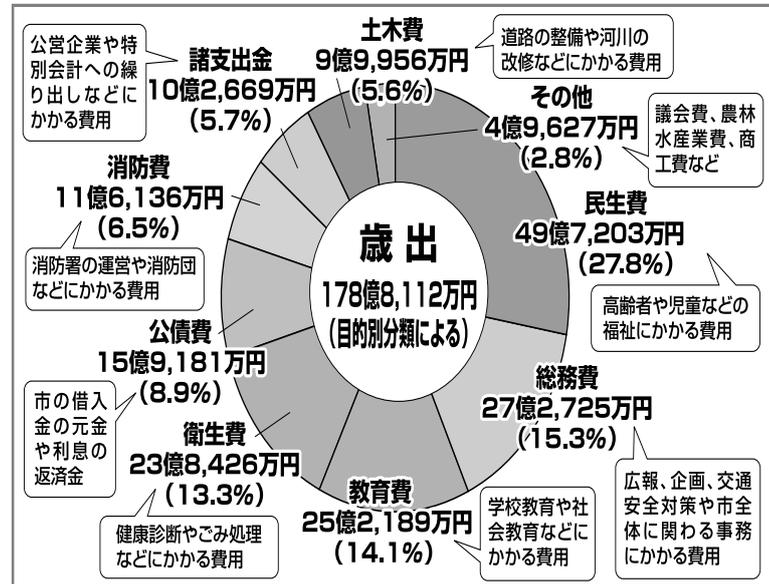
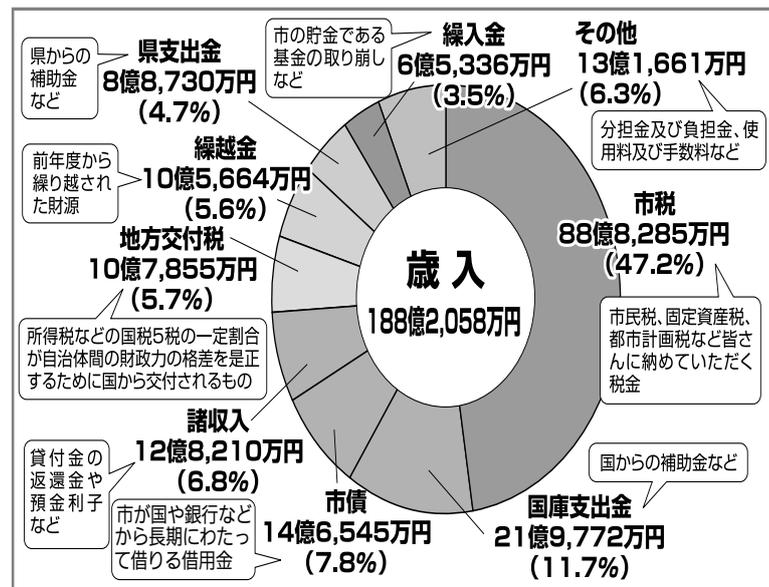
地方債の残高

地方債は、将来にわたって市民が利用する道路や公共施設の建設などの費用を、現在の市民だけでなく将来の市民にも負担してもらうことが公平である場合に、地方債の借り入れについて県の同意が得られた後に国などから借り入れる市の借金のことです。

平成25年度末地方債残高は下表のとおりです。

区分	地方債残高	市民1人あたり
総務債	91億5,820万円	146,600円
民生債	5億2,029万円	8,300円
衛生債	3億8,315万円	6,100円
土木債	2億1,040万円	3,400円
消防債	1,107万円	200円
教育債	32億7,672万円	52,400円
下水道事業債（特別会計）	24億9,591万円	40,000円
水道事業債（企業会計）	4億8,306万円	7,700円
合計	165億3,880万円	264,700円

※平成26年3月31日現在の住民基本台帳人口62,493人で計算しています。



一般会計以外の決算について

平成25年度の特別会計および企業会計の決算は、下表のとおりです。

特別会計			
会計名	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	63億1,128万円	59億9,563万円	3億1,565万円
介護保険	25億3,473万円	24億7,193万円	6,280万円
後期高齢者医療	4億706万円	4億427万円	279万円
下水道事業	12億517万円	11億2,232万円	8,285万円
学校給食	5億305万円	4億9,359万円	946万円
共同調理場事業			
企業会計			
事業名	歳入	歳出	差し引き
水道事業	4億5,724万円	4億2,792万円	2,932万円
資本的収支	3,176万円	6,233万円	△3,057万円

※翌年度へ繰り越して実施する事業に使う財源として、下水道事業は5,731万円、介護保険は81万円を含みます。

※表中の「△」はマイナスを表します。資本的収支の不足額は留保資金などから補てんしました。